

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「スポーツにおける注意集中の高め方」

◇ 解答例（模擬講義の内容の要約） ◇

※下線部はキーワード、キーフレーズの使用例
注意集中には、広く外的な注意集中、広く内的な注意集中、狭く外的な注意集中、狭く内的な注意集中の4種類がある。注意集中を高めるためには、まず、自分に必要な注意集中の種類を知ることが求められる。これは、競技やシーンによって求められる種類が異なるためである。続くステップでは、注意集中の妨害要因を整理する。妨害要因の傾向を把握することで、適切な対策を立てやすくなる。最後のステップでは、自分に合った注意集中を高める技法を探し習得する。その際は、技法を練習して集中する感覚を養うことが重要である。（244字）

※キーワード、キーフレーズ

4種類、必要な注意集中の種類、妨害、整理、技法、習得

◇ 評価基準 ◇

〔得点率〕

- 100%：6つのキーワードすべてに言及している。模擬講義の内容の理解に間違いがない。
- 80%：4つまたは5つのキーワードに言及している。模擬講義の内容をほぼ正確に理解している。
- 60%：3つのキーワードに言及している。模擬講義の内容の理解に所々間違いがある。
- 40%：2つのキーワードに言及している。模擬講義の内容の理解に多くの間違いがある。
- 20%：1つのキーワードにのみ言及している。模擬講義の内容の要点整理として著しく不十分である。
- 0%：白紙またはそれに準ずる答案である。模擬講義の内容の要点整理になっていない。

〔減点要素〕

- ・一般的な原稿用紙の使い方などの誤り
- ・誤字、脱字
- ・不自然な文章表現
- ・200字未満